

令和6年度第10回合同教育研究会議議事概要

1 開催日時

令和7年2月12日 13時00分～14時03分

2 場所

本部棟3階 特別会議室

3 出席者

鈴木学長、高橋副学長兼教育支援本部長兼教学IRセンター長、
亀田副学長兼研究・地域連携本部長、鈴木副学長兼事務局長、
三上学生支援本部長、猪股企画本部長、高橋高等教育推進センター長、
工藤看護学部長、中谷社会福祉学部長、高田ソフトウェア情報学部長、
Tee総合政策学部長、川崎盛岡短期大学部長、田中宮古短期大学部長、
大志田経営情報学科長、
宮本委員（学外委員：岩手大学人文社会科学部教授）、
永富委員（学外委員：東北大学産学連携機構特任教授）

[オブザーバー]

米内事務局次長兼総務室長、加藤教育支援室長、松崎学生支援室長、
藤村研究・地域連携室長、佐藤企画室長

[事務局]

高橋総務財務課長、森主幹、伊藤主任主査

4 会議の概要

審議事項

(1) 研究インテグリティの確保に向けた体制構築について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、研究インテグリティの確保については政府から対応の徹底を求められていること、留学生の受入れにも留意しなければならないこと、ケースバイケースでの対応となることが想定されるため、少しでも気になることがあれば、相談窓口を積極的に利用するようとの発言があった。

委員から、研究者自身が新たに対応しなければならないことは何かと質問があった。これに対し、亀田研究・地域連携本部長から、研究インテグリティの確保に係る確認書の提出が求められるとの回答があり、来年度4月1日に開催する研究費コンプライアンス研修会において、研究インテグリティについても説明することから、各部局での周知をお願いするとの発言があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(2) 「公立大学法人岩手県立大学共同研究取扱規程」、「公立大学法人岩手県立大学受託研究取扱規程」及び「公立大学法人岩手県立大学奨学寄附金取扱規程」の一部改正について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。改正事項のうち、共同研究及び受託研究の受入れに係る意見を、学長から所属長に変更するが、現状

の運用に合わせて改正するものであるとの補足説明があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

(3) 大学発ベンチャーの支援に係る体制構築について

亀田研究・地域連携本部長から、資料に基づき説明があった。

委員から、日本における大学発ベンチャーの支援は、海外と比較すると、支援する側の意識が十分ではないと言われており、責任を持った支援が必要であること、東北は課題先進地域であるため、積極的に取組を進めたいとの発言があった。

審議の結果、原案のとおり承認された。

協議事項

なし

報告事項（口頭報告）

(1) 三陸ジオパーク推進協議会と岩手県立大学宮古短期大学部との連携協力に関する協定締結について

田中宮古短期大学部長から、資料に基づき説明があった。令和7年度から2年次生科目として開講する「総合三陸学」は、三陸ジオパーク推進協議会や関連団体から講師を招いて授業を行ったり、フィールドワークを行ったりすること、今回の協定は、沿岸地域の市町村が岩手県立大学宮古短期大学部のことを理解する機会にもなるよう、相互交流としているとの補足説明があった。

委員から、「総合三陸学」は宮古にある高等教育機関だからこそ実施できる魅力のある科目であること、宮古短期大学部で学んだ人材が三陸地域の発展を担い、三陸地域の活性化の好循環につながっていくことを期待するとの発言があった。

委員から、地域の歴史や現状を踏まえてどのような未来を描くのか、地域と学生が共に考える良い取組であることから、大切に進めてほしいとの発言があった。

(2) 「岩手県立大学における多様な性のあり方を尊重するためのガイドライン」制定に伴う全学セミナーの開催について

三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。

(3) 令和6年度岩手県立大学の就職内定状況（1月末現在）について

三上学生支援本部長から、資料に基づき説明があった。

学長から、岩手県と首都圏では求人数に60倍の差があること、県内企業を知る機会を増やすため、県内でのインターンシップを積極的に進めることを検討したいとの発言があった。

(4) 国連アカデミック・インパクトの活動報告について

猪股企画本部長から、資料に基づき説明があった。

(5) 令和7年度学長メッセージの実施について

猪股企画本部長から、資料に基づき説明があった。

(6) 令和7年4月以降の学生支援本部長の予定者について

高橋副学長から、資料に基づき説明があった。

報告事項（資料報告）

- (1) 令和6年度高大連携「ウインター・セッション」の実施結果について（報告）
- (2) 大学院入学者選抜（第2次募集）出願状況について
- (3) 令和7年度大学入学共通テスト実施結果について（報告）
- (4) 令和6年度研究室保管図書点検結果について（報告）
- (5) 令和6年度第2回学生支援委員会の開催結果について（報告）

その他

委員から、基盤研究費配分の取扱い及び会議における録音の取扱いについて発言があり、別途、検討することとされた。